

# とりの一と百二十三号

## 今月のトリ「ヒバリ」

今月ご紹介するのは、茨城県の鳥でもある「ヒバリ」です。ヒバリといえば、やはりあの特徴的なさえずりでしょう。草地の上空で長く賑やかに鳴くその姿を見聞きしたことがある、という方も多いと思います。



気象庁は毎年「初鳴日」を発表しており、茨城県（水戸）の平均日は3月7日だそうです。牛久周辺ではもっと早い時期に聞くこともあります。皆さんは今年、いつヒバリのさえずりを聞くことになるのでしょうか？

そんなヒバリには、様々な言い伝えや逸話があり、その中のひとつに「神に抗議する鳥」というものがあります。

天に住んでいたヒバリが地上に下り、そこで遊び呆けた罪として、天に戻れなくなってしまうという昔話です。その為、ヒバリは天の神に抗議し続けているのだとか。これはおそらく、夏にヒバリが高いところまで飛んで大きな声で鳴くところから来ているのでしょう。

ヒバリの学名「*Alauda arvensis*」の「*arvensis*」にはふたつの意味があります。ひとつ目はラテン語の「ヒバリ」なのですが、注目して欲しいものはふたつ目、ケルト語の「偉大な歌姫」です。確かにヒバリのさえずりは高らかで美しいですよ。

茨城県の鳥でもあるヒバリはとても身近な鳥ですが、魅力たっぷりの鳥ですね。見かけたらじっくりと観察してみましましょう。





牛久自然観察の森で3月～4月に期待できる代表的な野鳥

**夏鳥（春頃に渡来し、繁殖して秋に去る）**



ツバメ

**冬鳥（北の国等で繁殖した野鳥達が、渡ってきて越冬し春に去る）**



アオジ



カケス



シロハラ



ジョウビタキ♂

**留鳥（年間を通じて同じ場所にとどまり、季節による移動をしない）**



エナガ



オオタカ



カワセミ



コゲラ



ヤマガラ

※留鳥は上記以外にもたくさんいますので、気になる方はスタッフまでお尋ね下さい。



【1/19（日）バードウォッチングに確認できた野鳥

コジュケイ♪、キジバト、トビ、オオタカ、コゲラ、  
ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、  
ヤマガラ♪、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス♪、エナガ、  
メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、  
タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ  
※♪は鳴き声のみ

計 24 種

次回の牛久自然観察の森の  
バードウォッチング

4月19日（日）

9:00～10:30

- 参加費無料 事前申込不要
- 正門前集合
- 双眼鏡の無料貸出がございます。
- 強風・雨天時中止

※中止の際は、開始1時間前にHPにて掲載。

令和  
2年

